

科学的有望地に関するマップの 提示後の活動方針について

2017年2月28日
原子力発電環境整備機構（NUMO）

これまでの対話活動

多様な方法による情報発信活動

- 全国シンポジウムの実施（国との共催）
- 多様な社会各層への発信、インターネット発信
- マスコミ・報道機関への取組み
- 地層処分模型展示車「ジオ・ミライ号」の巡回
- 海外の取組みに関する情報提供

次世代層・女性層向けの活動

- 教育関係者向けワークショップ
- ディベート授業の支援
- 出前授業（地層処分アカデミー）
- 親子向け学習イベント
- 女性を対象とした広聴活動

フェイス・トゥ・フェイスの対話活動

- 地層処分セミナーの開催
- 地域の諸団体訪問と説明会

地域の自主的活動への協力

- 「学習の機会」提供

- NUMOは、国とも連携し、地層処分事業の認知度向上や、安全性・必要性に関する国民理解の促進を目指し、特に一昨年の基本方針の改定以降、上記のような広報・対話活動を実施しています。
- 対話活動で寄せられた主なご関心・ご質問についてQ & Aをホームページに掲載したり、大規模な説明会形式ではない車座の意見交換会（地層処分セミナー）を開催するなど、工夫を重ねながら多様な広報・対話活動を展開してきました。
- こうした中、国による科学的有望地に関するマップの提示により、さらに幅広い国民の皆様に関心を持って頂くことを期待しています。それに合わせ、NUMOとしては、国民の皆様から一層の信頼を得て活動を進めていくため、「対話活動計画」を策定し、マップ提示前に公表する予定です。

科学的有望地に関するマップの提示後の活動計画の概要①

(地層処分の安全性・必要性の理解促進)

- マップ提示を契機に日本の地下環境の特性等に関心を持って頂き、地層処分の安全確保の考え方についてご理解を得るため、引き続き、広く全国で対話活動を展開していきます。
- 原子力発電を利用してきた私たちの世代の責任として、社会全体で解決していく必要があることについて理解を広げていきます。

(多様な形式での広報・対話活動の展開)

- 広く国民各層の理解を得るため、マスメディア広報やWebメディア広報、人が集まりやすい場所に出向く形での広報、より密度の高い車座の意見交換会など、多様な形式で活動を展開していきます。
- その際、対象となる方々の関心の内容や知識の多寡などに応じた効果的な内容となるように努めます。
- また、NUMOが主催する活動への参加だけでなく、国民の皆様による主体的な学習活動を呼びかけ、その成果を広く共有してまいります。

(議論内容の充実)

- これまでは主に安全確保の考え方を紹介してきましたが、大規模かつ長期の事業として、地域の経済社会や自然環境などに配慮し、どのように地域と共生を図っていくのか、といった点の紹介も充実させてまいります。

→ こうした活動を通じ、一人でも多くの方に処分事業に対する関心を深めて頂きたいと考えています。

科学的有望地に関するマップの提示後の活動計画の概要②

(地域毎のきめ細かな対話活動の展開)

- 全国で広く対話活動を展開しつつ、地域毎のきめ細かな対話活動も行っておりまいます。
- その中で、地域に根差した活動を行っている団体等に、主体的な学習活動を行って頂けるように呼びかけていきます。
- なお、処分事業は、長期にわたり地域との相互理解を深めながら、必要な調査を綿密かつ段階的に進めていく必要があることを踏まえ、マップ上の「より適性が高い地域」で重点的な対話活動を展開してまいります。

(地域における主体的な学習活動の支援と拡大)

- 主体的に学習活動を行って頂ける地域団体等に対しては、どのように地域と共生を図っていくのかといった点について、NUMOとしての考え方も具体的に示し、必要に応じて地域の情報も収集しつつ、地域の将来ビジョン等を一緒に考えてまいります。
 - 議論の深まりとともに、こうした学習活動が地域全体に広がっていくことを期待します。
- こうした活動を通じ、地域住民の方々のご理解やご協力を得た上で、できれば複数の自治体で同時期に、文献調査を行っていくことを目指します。